



神奈川大学フロンティアクラブ会報

発行日 2018年10月1日
編集・発行 神奈川大学フロンティアクラブ
組織・広報専門委員会
事務局 神奈川大学 総務部校友課内
〒221-8686 横浜市神奈川区六角橋3-27-1
TEL.045-481-5661 (代)
FAX.045-481-2741

第30号



2018年度 村橋・フロンティア奨学金
奨学生採用証授与式

前左列4人目から兼子学長、村田会長、牧内理事長、小林常務理事、日野常務理事

村橋・フロンティア奨学金の授与式開かれる

平成30年度の村橋・フロンティア奨学金の授与式が7月5日、横浜キャンパス1号館で開かれ、当クラブの村田龍也会長を始め、牧内良平学校法人神奈川大学理事長、兼子良夫神奈川大学学長など大学幹部が出席して行われた。村田会長は次のように述べ、奨学生を祝福した。

「奨学生の皆さん、おめでとう。フロンティアクラブは昨年の12月、発足20年を迎えました。この村橋・フロンティア奨学金は、神大の前身・横浜専門学校を卒業した村橋三好さんの寄付を基に、大学当局や当クラブ会員の寄付金を加え1999（平成11）年に創設したものです。本年度の奨学生は、応募者37人中から選ばれた10名の学生に奨学金を給付したことになります。奨学生としての自信とプライドを持って、学生生活を乗りこえるものにしてほしい。社会で活躍

(社)宮陵会設立80周年記念式典(右)吉盛の様子(左)



し、いつの日かフロンティア会員となつて後輩を支援する側になるよう期待しています」
奨学生代表の女子学生は「奨学生として『報恩・感謝・功德』の精神を忘れず、私も世のため

大学主催行事などに村田会長が出席

学校法人神奈川大学主催の行事や宮陵会主催行事にフロンティアクラブを代表して村田龍也会長などが出席しています。9月末までに出席した主な行事は次の通りです。

- ▽3月19日 卒業式(パシフィック横浜国立大ホール)
▽4月3日 入学式(同)
▽5月17日 創立者・米田吉盛先生の吉盛忌(横浜市港南区の日野公園墓地)
▽6月9日 (社)宮陵会80周年記念式典(セレストホール)
▽7月30日 みなとみらいキャンパス起工式(開学予定地)

箱根交流会

毎回進化する箱根交流会へのお誘い

原田 浩行(神奈川大学 総務部長)

4月20日(金)第12回箱根交流会は、いつものゴルフコンペと箱根保養所の懇親会で盛大に行われました。この寄稿はゴルフコンペで優勝した方が書くことが多いのですが、私は残念ながらゴルフではハンデキャップを入れたネットで14人中9位、グロス順位では最下位でした。当日は天候のせいにはできない絶好のゴルフ日和で、メンバ

1にも恵まれ楽しくラウンドしたわけですが、が、日頃の運動不足と練習嫌い、年2回の箱根交流会だけのラウンドでは優勝なんて夢のまた夢。但し、このコンペは、新ペリアで青空のハンデキャップ方式なので、隠しホールを見抜き、とことん打ちまくれば、実は誰にも優勝のチャンスのある楽しいゴルフの会です。さてそんな私が



じゃんけんで勝ちの焼酎を受けとる原田さん(右)

なぜ今回寄稿しているかと言いますと、懇親会の席上で、池田清隆さん(平成16年法律卒)から毎回提供していただく幻の焼酎「霽雪」のもらえるじゃんけんゲームで見事勝ち抜いた結果、今回の寄稿が特典?として付いてきてしまったというわけです。
今回の箱根交流会は、ゴルフに14人、懇親会に26人が参加しました。加えて今回は、久米信行さん(昭和49年経済卒)がゴルフをやらぬ方を募り、近くのテニスコートを借り「テニスを楽しむ会」も行われました。次回からは、これも箱根交流会のイベントとして定着させたらよいと思っています。
保養所では疲れた体を温泉で癒し、おいしい料理とお酒で宴の席はいつも通り盛り上がりました。二次会では吹奏楽部OBの田原清彦さん(昭和49年貿易卒)のクラリネットのミニリサ

事務局からのお知らせ

村橋・フロンティア奨学金寄付のお願い

11月上旬に村橋・フロンティア奨学金ご寄付のご案内を致します。ご協力を賜りますようお願い申し上げます。

第13回箱根交流会

- ★紅葉と温泉を楽しむ懇親の会
▽日時 11月30日(金)~12月1日(土)、午後5時現地集合(午後2時からチェックイン可)
▽宿泊場所 神奈川大学箱根保養所(箱根町大字千石原1104-1)、TEL 0460-84-9611
▽宿泊費 8,000円(1泊2食付、お酒・特別料理含む)、懇親会のみ6,000円
※詳細は別途お知らせします。(ゴルフの会、テニス会、または温泉を楽しむ懇親会のみ参加も歓迎)
★ゴルフの会
▽日時 11月30日(金)8時20分現地集合
▽会場 富士カントリークラブ(御殿場市東山2472)、TEL 0550-82-1616
▽会費 特別価格14,500円(プレー代、キャディー付、賞品代、食事代込み)*70歳以上ゴルフ利用税950円免除
▽募集人数 5組(20人)
▽参加資格 会員、神大教職員、神大卒業生、※表彰式と懇親会は神奈川大学箱根保養所で「テニスの会」「紅葉と温泉を楽しむ懇親の会」の参加者と合同で行います。
★テニスの会
▽日時 11月30日(金)13時30分箱根保養所集合
▽会場 仙石原テニスコート
※詳細については、別途ご案内致します。

フロンティアサロン

- 第104回フロンティアサロン
▽日時 11月14日(水)午後6時より
▽会場 神奈川大学みなとみらいエクステンションセンター
▽講演テーマ 夢の実現に向けて~サラリーマンからプロ棋士へ~
▽講師 瀬川 晶司氏(平成13年 第二法学部法律学科卒業)
▽講師プロフィール 2001年4月ワイイーシーソリューションズに入社。1997年からアマチュア復帰後の対プロ戦の高勝率が認められ、2004年戦後初めてのプロ編入試験を実現。これに合格し2005年11月プロ棋士となる。
▽会費 会員1,000円、一般2,000円

- 第105回フロンティアサロン
▽日時 平成31年1月16日(水)=予定
第106回フロンティアサロン
▽日時 平成31年3月13日(水)=予定

神奈川大学フロンティアクラブ総会

- ▽日時 平成31年2月16日(土)14時より=予定
▽会場 ホテル横浜キャメロットジャパン
※12月下旬より順次ご案内します。

フロンティアクラブ会員紹介



榎山 俊明

神大・六角橋は心のふるさと ―今、剣舞道と私

私が、第二経済学部貿易学科に入学したのは、1973年(昭和48)4月でした。2年間は学生運動の影響で殆ど試験がなく、レポート提出で単位をかなりいただきました。在学中は、高校時代の経験から二部柔道部での活動に参加し(講道館で試合ができるので入部)、二部関東大会や全国大会にも出場しました。合宿所を利用した練習などが活

き、当大学としては唯一関東大会での優勝を経験しました。入学時が22歳であったこともありますが、3年生の時に「学生結婚」となり卒業時には「パパ」となっていました。単位取得の関係で土曜日にも講義があり、時々妻と学食のAランチを食した後、共に?講義を受けたことも懐かしい思い出です。25歳までは柔道でしたが、40

歳過ぎまではゴルフも経験したものの、田吾作ゴルフでは上手くなりませんでした。40歳から縁あって剣舞道を始めることになりました。恩師は、満州で教師経験のある女学校卒の女子大教授で、信州は松代のご出身。裁縫、編み物、書画、短歌、薙刀、居合も経験され、剣舞道では、宗家を継いで「剣舞道松代館」としてボランティア活動(施設

での剣舞披露など)をされてきました。指導は「剣舞とは、刀をもって(詩吟にあわせて)舞うもので、武道です。当流派の剣舞は、武道であるという考えの上に立って、礼節を重んじ」というものでした。一昨年亡くなられ、私が後を継ぎました。女性の弟子ばかりで、そこに私が加入しましたので(男性二人)、期待され、特訓を受け「同じ振るのであれば、下手なクラブより気合の要る刀」と通勤途中の電車の中で目をつぶり形のイメージづくりをしていました。単身赴任した高知県須崎では、

日本詩吟学院岳風会の方々と縁が出来て、会の発表会にはいつも声をかけて頂き10年通いました。「5分間のために東京から来る人」と大事にして頂きました。剣舞道は、現在も(月3回)毎週土曜日に稽古・指導しており、生活のリズムの柱となっています。退官し、税理士登録して6年が経ち、剣舞を柱として健康にも留意し、人とのつながりを大事にしております。なお、二部柔道部のメンバーとは現在も年一回は顔を合わせています。(昭和52年貿易卒)



石井 浩

40人の卒業生が活躍中

昨年、先輩諸氏にお誘いいただきフロンティアクラブに入会させていただきました。私が神奈川大学を卒業した1988年(昭和63)は、「昭和」最後の卒業年次であり、バブル景気のただ中であつたと懐かしく思います。当時はバブルを

実感するにはほど遠い学生生活で、体育会バレーボール部においてリーグ戦での勝利を目指して過ごしていました。一方、3年次の後半から始まる卒業研究は井川先生のご指導の下、「中和透析法におけるイオン選択分離」をテーマに研究を行って

ました。振り返りますと、クラブ活動や研究室での経験や出会いが、その後の私の考え方や行動の原点になっていると感じており、神奈川大学で過ごした日々の大切さを改めて感じるところです。卒業後は、縁あつて不二サッシに入社し、現在、執行役員として経営企画室長の任についています。当社は、1930年(昭和5)創業の川崎市幸区に本社

を置くビルサッシやカーテンウォールを中心に製造販売するメーカーです。本社が地元神奈川にあることから、本学の卒業生も多く、現在40人ほどが様々な部署で活躍しています。さらにOB・OGまで含めた卒業生の数は100人にもなります。本学卒業の新社員が入社の際は、歓迎会を兼ねたOB・OG会を開催しています。今後も多くの後輩の皆さんに「入社したい」と志望してもらえらる企業である

よう、努めて参りたいと思っています。結びに、今回このような寄稿の機会を与えて下さったことに感謝申し上げます。フロンティアクラブの益々の発展と神奈川大学のさらなる躍進を祈念申し上げます。微力ではありますがご協力させていただきましたと感謝しています。(昭和63年応用化学卒)

3年生になるまでに多くの資格を取得したいと考えていました。しかし、家庭の事情もあり参考書など買えるか、検定代は払えるのかとても不安でした。さらに、学業とは別に体育会系の部活に所属しており、部費や消耗品などをしっかりと購入できるのかとても不安でした。そのような中、村橋・フロンティア奨学生に採用され、これまで抱いていた金銭的不安が解消され非常に助かりました。

私は、高校在学中生徒会長を務め、勉学に一生懸命励んでいたのですが、指定校推薦を受け神奈川大学へ入学することができました。しかし、私の偏差値と神奈川大学の偏差値には結構差があり、勉学に必死に励むことはもちろんですが、授業内容についていけないか不安な中、先日久学してはじめてのテストを受けました。やはり難しいと感じましたが、あきらめずにもっと勉強して奨学生として胸をはれるように頑張りたいです。

シオンに受かることができた。今年の春からスクールに通う予定でしたが、そのためのお金が足りなくて、断念せざるを得ませんでした。小さいころに受けたオーディションの際もこのような事があり、私にはこの道は向いてないのかもしれないと最近考えるようになってしまいました。しかし、夢は諦めきれません。資格を取得し、その資格を生かした職業でお金を貯め、一度は諦めかけたスクールに通い芸能界を目指したいと考えています。

自治行政学科2年 男子学生 目指すは公務員

この度は、「村橋フロンティア奨学金」の奨学生に採用していただき心より感謝申しあげます。

私の家庭は決して裕福ではなく、父は汗腺異常をおこし転職し、収入は激減してしまいました。母も働いておりますが金銭的な余裕はありません。私も去年からバイトを始めましたが、

学業に打ち込みたい思いが強く、資格試験に挑むため学業に専念する必要があります。予習、復習、学業にかけられる時間が減少してしまうのではないかという不安がありました。

そんな中、数多くの応募者の中から奨学生に選んでいただき、驚きとともに大変有難く感じました。直ぐ両親に報告したところ大変喜んでくれました。奨学金は学費に工面させて頂きます。本当にありがとうございます。

奨学金授与式では、理事長や学長の話を伺う中で、話の中に何度も「学校の代表」という言葉が出てきました。授与式のパンフレットの中にも「母校を愛し、質実剛健、積極進取、中正堅実を建学の精神に掲げる神奈川大学の卒業生として、社会に貢献する人材となりますよう期待いたしております」と書かれていました。会報には「フロンティア奨学金は将来の日本を担う人材育成に大いに役立つもので、神大の存在を大いに高めてくれるものと自負致します」と村田会長の言葉が載っていました。このように素晴らしい奨学生に採用されたことは、

人間科学科1年 女子学生 様々なことに挑戦したい

この度は、村橋・フロンティア奨学生に採用していただき、誠にありがとうございます。私は母子家庭で、高校生のころ、経済的な面から母には就職を進められてきました。しかし、私自身の大学で専門的なことを学びたいという意思を尊重し、母は進学を認めてくれました。また、地元の北海道からは遠く離れた場所での生活に心配をしつつも「頑張れ」と応援してくれ、母には感謝しかありません。恥ずかしいことに、私は母のものを離れて、ようやく母の偉大さ、有難さに気がつきました。ぶつかることもありませんが、誰よりも私のことを思い、支えてくれていたというのを改めて感じます。今だに母に頼ってばかりですが、少しずつ親孝行をしていきたいなと思います。

入学当初は不安なことがたくさんありましたが、大学生活にもすっかりと慣れ、周りを見る余裕ができてきたように感じます。多くの先生方・学生と関わっていくなかで、たくさん刺激を受けられることを嬉しく思います。日々の授業などで得られるものも大きく、学生生活に夢が膨らむばかりで、充実した学生生活を過ごしています。学業に努めることはもちろん、資格の取得や、ボランティア活動など、学内だけでなく、学外での活動も積極的に行い、4年間で様々な経験をつんでいこうと思っています。大学生として過ごす時間を無駄にしないよう、進んで挑戦していくつもりです。また、「報恩・感謝・功德」の精神を忘れず、自分も世のため人のために役立つ人材となるよう、努めていきます。

大学生になり改めて自分には多くの人に支えられているというのを実感します。これからは、奨学生としての自覚を持ち、本奨学金の生みの親・村橋三好名誉博士をはじめ、ご支援くださる多くの方々への感謝を忘れずに、学生生活をよりよいものにしていきたいと思っています。

平成30年度 村橋・フロンティア奨学金

「村橋精神」に感謝

平成30年度村橋・フロンティア奨学生から寄せられたお礼の言葉を紹介します。

**スペイン学科1年 女子学生
夢は海外で日本語教師**

この度は村橋フロンティア奨学生に採用していただき誠にありがとうございます。名誉博士である村橋三好様の私財の寄付を基に、神奈川大学フロンティアクラブ様の協力のもと、神奈川大学で勉学を続けさせていただけますことを大変幸せに感じております。

私は3人兄弟。母がシングルマザーでありながら私たちは自分の夢のためそれぞれの道を歩いてきました。兄は自宅外から私立大学へ、弟も今まで力を注いだため私立高校へ通っています。授業費や生活費のためすでに奨学金をかりており、母への負担を減らすためにアルバイトを増やすかありませんでした。しかし、この村橋フロンティア奨学生になったことで、母の負

担を減らすことができるのと同じに自分の勉強時間の確保や夢に、向けて一歩近づくことができました。

今回の奨学金は生活費の一部と留学費、資格取得のために使わせていただきたいと考えております。私は海外で日本語教師として働きたいという夢があります。そのためにまずは長期の留学をしたいと思っています。日本においても英語の勉強はできますが、より本格的な英語を習得するため、そして英語を学ぶだけではなく外国の文化にも触れ、様々な体験をしたいと考えています。またこの夏季休業を活かしてTOEFL[®]の勉強に力を入れ、休業明けには試験に臨もうと思っています。そしてTOEIC[®]も、もう一度挑戦したいと思っています。よりスコアを伸ばすためさらに勉強時間を延ばしていこうと思っています。

**経済学科1年 女子学生
いまも芸能界にあこがれて**

この度は村橋・フロンティア奨学生として、採用していただきありがとうございます。当初この奨学金の採用者が少人数とは知らず、授与式に行ったらさにはじめて知りました。こんなに多くの応募者の中から採用されたのだと知り、勉強や部活動をもっと頑張ろうと改めて思いました。

私は、高校生の時から大学

機械工学科1年 男子学生

進学動機は「電車の運行」

この度は、村橋・フロンティア奨学生に採用していただき本当にありがとうございます。私の母は、知識や常識などを身に付けることは大切であるという思いから私を大学に進学させてくれました。私は母子家庭のため、私の家庭の状況では学費や、私が一人暮らしをするための生活費を賄う経済力がありません。今回の村橋・フロンティア奨学生に採用していただいたおかげで生活費などの心配をせず、勉学に集中することができ、本心に嬉しく思います。

神奈川大学に入学して4ヶ月がたちました。私が神奈川大学に入学して驚いたことは、自分の専攻する学部とは別の分野の授業も受けることができることです。いろいろな分野の勉強ができるので、自分の視野を広げることができると思いました。また、図書館ではたくさんの自習スペースや友達と相談しながら勉強で

きる場所があるので、活用していきたいと思っています。

私が神奈川大学の機械工学科に進学しようと思った理由の一つとして、私は将来、電車の運行に携わる仕事に就きたいと考えているからです。私は小学生の頃、夏休みの自由研究で電車のことについて自分で調べたり、夏休みに電車に乗って旅をしたことをまとめたり、小さい頃から電車がとても好きでした。好きなことを仕事にすることは簡単なことではありません。だから私は、機械工学はもちろん、様々な分野の講義を通してより多くの知識を持ち、将来役立つ人材となれるように、また私をいつも応援し、私の背中を押してくれた母親や恩師に将来私が夢を実現させるという形で恩返しができるように形を恩返しができるようにしたいと思います。本当にありがとうございます。



木口 隆 還暦を過ぎて思うこと

この度入会させていただいた山形県出身の木口隆と申します。よろしくお願いたします。

仕事は税理士業です。間もなく62歳になりますが、仕事柄様々な方の相続の仕事を御手伝いすることも多く、故人の後始末の大変さを身に沁みて感じています。せめて自分のことはキ

レイにしておきたいと、還暦を過ぎた近頃は特に思うようになります。

相続税の申告業務について云えば、本来税理士が御手伝いする部分は、相続人らの遺産分割協議書に基づき、その財産や債務を評価し、それによって税額を計算するということなのです。

が、実際の仕事の現場では、それ以前の仕事、例えば遺産そのものの整理や協議書作成に関わる多

様な相談などに多くの時間を割かねばならないことも度々です。特に相続人らの内輪もめに係わってしまった場合には悲惨なことになってしまふこともありま



毛塚 衛 法科大学院を経て法曹の道

私は1990年(平成2)に生まれ、2008年(平成20)4月に法学部法律学科に入学、卒業後に法科大学院へ進み、司法試験に合格後、26歳で弁護士となり、現在弁護士2年目を迎えております。

私が入学した時代は、いわゆる就職氷河期と呼ばれる時代でした。在学1年目、2年目は学

生生活を満喫するものの、3年

以降、周囲から「就活」という言葉を聞かない日がないような時代に神奈川大学に在籍しておりました。私は大学入学前から司法の道を志しておりましたので、1人、就活とは縁のない生活をしていくことを思い出します。

今年、神奈川大学は創立90周

年を迎え、創立100周年に向けて

みなとみらいに新キャンパスを創設予定とのこと。

奇しくも私の所属するLM総合法律事務所はみなとみらいのシンボルである横浜ランドマークタワーの43階に位置しており、近隣のクイーンズタワーにはR Uポートスクエアも存在し、卒業後も神奈川大学を身近に感じ

る毎日です。

私個人の話をしますと、大学時代はあまり学校に滞在してい

のすべての遺産を探し出し、それを整理し、評価するという作業自体が、大変なエネルギーを必要とするとはどなたにでも

容易に想像できる話だと思いがあす。相続人のあいだに争いがあるのが無からうが、相続の仕事は結構きつい仕事だと言えるところです。遺書やエンディングノートがあっても私共の仕事が気軽に楽になると言うわけでもありません。勿論そのようなケースもあるかもしれませんが、相続の現場は一概ではなく、まさ

に被相続人の数だけ「相続」があるわけです。

平成27年に相続税の基礎控除額が引き下げられてからは、山形のような地方都市でも相続税の申告が必要な方が増加してあり、多くの市民の皆様と接するなかで、しみじみ思うのは、「終活」は決してお墓探しだけでは

るほうではなく、平日は牛丼チェーン店の松屋でアルバイトをこなし、休日は地域のソフトボールチームで汗を流す日々を過ごしておりました。実家が神奈川県、法科大学院が東京都であったことから、卒業後に神奈川大学の図書館で勉強すること

が多かったです。もしかすると卒業後のほうが学食と図書館の利用は多かったかもしれせん。

弊事務所は現在弁護士9人体制で運営しており、来年1月には弁護士12人という神奈川県

内ではそれなりの規模をもつ事務所となる予定です。私は今まで会社・個人を問わず、多種多様な案件を取り扱ってきました。自分が若いうちは、学生を含む若い人に近い弁護士でありたいと日々考えております。

これからは当クラブの設立目的の通り、神奈川大学の充実発展に寄与し、法曹の世界へ神奈川大学の学生を呼び込めたらと考えております。

みなさまこれからよろしくお願いたします。

(平成24年法律卒)



尾谷 敬造
神奈川大学研究支援部
産官学連携コーディネーター

オープンイノベーションの重要性と産官学連携のあり方

(平成30年5月16日講演)

昨年2月から、本学産官学連携推進課でお世話になるまでの36年間、企業で自動車用材料の研究開発に従事しておりました。この間、海外を含め様々な大学のお世話になり、神奈川大学との共同研究も経験させていただきました。これまで、企業の立場で対岸から大学を眺めていたわけですが、今回の講演資料をまとめる過程で、改めて現在の

た。この革新は、バッテリーの高性能化をはじめとして、モーターやインバーターを小型化するための様々な要素技術の組み合わせで成り立っています。このように革新的な新製品というものは、尖がった一つの技術だけで成立することは稀で、多くの要素技術の組み合わせで成立する場合があります。いわばジグソーパズルを完成させるようなものだと思っています。

来からの開発アプローチです。ここで、企業の製品開発環境に目を向けてみます。2000年以前と比べると、製品の革新競争が激化しており、プロダクトライフサイクルも非常に短くなっています。テレビジョンを例にとると、30年以上続いたブラウン管テレビは、この25年の間に、プラズマディスプレイにより大画面化されたのを皮切りに、液晶、さらには有機ELの応用により鮮鋭度が飛躍的に向上しています。

組みが重要視されています。オープンイノベーションは少ない投資で、優れた製品を早く実用化するための開発アプローチと考えられています。欧米をはじめとする先進国や中国、台湾、韓国等の急進国がオープンイノベーションを積極的に推進し事業を急速に発展させているのに対し、日本では業種によっても異なりますが、依然としてクロズドイノベーションを志向する企業が多く、出遅れ感が否めません。この出遅れが招いた過去の失敗例として

占められています。技術を囲い込もうとする余り、先行開発投資が膨らみ、需要拡大期に、価格競争に負けて生産撤退しこの

本学産官学連携コーディネーターとしての自分の立ち位置を整理することができ、ありがたい経験をさせていただきました。さて、ハイブリッド車が市販され始めてから早いもので20年余りが経ちます。量販車では百年余り続いた内燃機関単体による車の駆動システムが革新され、燃費が飛躍的に向上しまし

オープンイノベーションとは、企業がこのジグソーパズルの各ピース(要素技術)を広く社外から集めてパズルを完成させ、革新的な製品の実用化に繋げる開発アプローチです。これに対し、反意語であるクロズドイノベーションは、必要なピースをすべて自社内で開発し、確固たる競争優位を得ようとする従

このような激しい製品の革新競争環境下で、企業が従来のようなクロズドイノベーションによる開発アプローチに固執すると、もはや商品性能面(Q)、開発コスト面(C)、商品化時期(D)、で競合他社に打ち勝つてゆけないため、近年このオープンイノベーションによる取

りえると思いますし、また、誰もが不可能だと思っていることが可能となり、塩漬けになって棚上げされているジグソーパズルを完成できるポテンシャルも秘めていると考えます。このようなことを実現してゆくためには、大学発のピースと企業ニーズとのマッチングを図る必要があります。そのため、

出展や新技術説明会に代表されるような科学技術振興機構(JST)主催のイベントを活用し、ピースの紹介を推進しています。企業の皆様におかれましては、アンテナ高く自社のニーズにマッチした大学発のピースを探し求めていただくことを期待しております。お気軽に私共に直接ご相談いただいても結構です。上記のようなイベントには積極的に参加いただきたいと思います。



会員からの質問に笑顔で答える尾谷氏(中央)

第103回神奈川大学フロンティアサロン ～施設見学会・交流会～



参加者全員で記念撮影(新聞博物館ホワイエ)

明治23年から新聞を発行する地元紙・神奈川新聞社やジャーナリズムの果たす役割を紹介する日本新聞博物館の見学会とホテルニューグランドでの交流会を9月13日、実施した。参加者は34人。

新聞社では、本学出身の片岡孝之総務局長(昭和62経済卒)からは社の歴史や特長などの説明を、和知親裕販売局長(昭和63貿易卒)には編集局の新聞製作現場を見せてもらった。

尾高泉新聞博物館館長から

ような結果を招いています。オープンイノベーションには以上のような大きな利点がある反面、ジグソーパズルのピースを外部に頼るため、他者が同様の動きで追従すれば、長く市場を独占できないリスクを伴います。このリスクを最小限にするため、ピースを集める側は構成ピースの中のキーになる一部のピースを自社開発して知財化もしくはノウハウ化しておくことが重要です。また、社外から必

要なピースの提供を受ける際は、相手方の承諾を得て、自社が独占できるような契約を結べればベターです。一方、ピースを提供する側から見ると、相手のピースに乗ることなく、適切な相手の選択、および自身の技術の独自性(代替技術の有無)や進歩性に見合った対等な契約の下で、技術供与することが重要と考えます。

シオンにおけるピース提供の担い手の一角で重要な役割を果たすのが大学です。一般に企業の研究開発は自社の潜在ニーズを実現するために必要な課題解決型のアプローチが主流であるのに対し、大学における研究は、先生方個々人の学術的興味や夢がドライビングフォースとなっていると思います。そのため、

大学発のピースは企業の皆様にあっては、全く新しいジグソーパズルを発想するトリガーになり

し、このホテルに直行、3日間滞在したという。マッカーサーは、昭和12年に当時のケソン大統領(比国)の訪米時に軍事顧問として随行した婦り、また、ジョーンズ夫人との新婚旅行でもこのホテルを利用したという。

新聞社では、本学出身の片岡孝之総務局長(昭和62経済卒)からは社の歴史や特長などの説明を、和知親裕販売局長(昭和63貿易卒)には編集局の新聞製作現場を見せてもらった。

は、急速に広がる若者の新聞離れ(全国で10年間に1,000万部減)の実態や地域と博物館との連携の仕方などの説明を受けた。即時発行の「NEWS PARK」TIMES」紙には、参加者全員の写真が載り、見学会の素敵な記念品となった。

交流会は和やかな雰囲気のもと、村田龍也会長のあいさつ後、牧内良平本学理事長を交え、新規会員や本学卒業の新聞社社員の自己紹介などもあり懇親を深めた。

8月30日に厚木飛行場に到着

(フロンティアクラブ事務局)



マッカーサー元帥が泊まった港の見えるホテルニューグランドの部屋